

法圓寺だより

第64号

昭和二十九年発足

仏教婦人会創立七十周年

アトラクシヨンはインド舞踊

昨年三月二十八日、法圓寺 午前中は滋賀県の真宗佛光
 仏教婦人会七十周年記念総会 寺派前総務で工学博士の日野
 を行いました。昭和二十九年 英宣師より「人間に立ち帰ろ
 に前任職が立ち上げた会です。 う」をテーマに、生きる悲し
 七十年という月日を思うと、 みを通して、生きる意味を知
 大きな感慨に包まれます。 る大切さをお聞かせいただき



ました。

午後の総会では、予算決算
 の承認の他、十年以上勤続の
 仏教婦人会の理事の方々、十
 名を表彰させていただきました。

その後は、福井智美様のイ
 ンド舞踊・オデッシーダンス
 で楽しませていただきました。
 福井智美様は三条市の佛光寺
 派徳誓寺様の若坊守様です。
 皆さん初めて見るインド舞踊
 ですので、真剣に楽しくご覧
 いただきました。

さて仏教婦人会の会員数は
 徐々に減少しております。会
 員方がお亡くなり、若い世代
 の方が入会されなことが減
 少の主な理由です。

お寺にお参りできなくとも、
 会費の収入が婦人会活動を支
 えるという側面もあります。

仏教婦人会は法圓寺の聞法活
 動の核となる組織です。是非
 お念仏の教えを次の代まで相
 続できますよう、若い世代の
 方々にも仏教婦人会に入会し
 ていただきたいと思います。

十年後の八十周年に向けて、
 また新たな一步を踏み出して
 ゆきましよう。

墓地清掃ボランティア

昨年八月十七日にお盆後の
 お墓のお花等を下げてくださいるボ
 ランティアを呼びかけました。 ナ禍の前は、「ひまわり会」
 という聞法会の会員にボラン
 ティアをお願いしたこともあ
 りましたが、コロナ禍でそれ
 も中断してしまいました。 それを聞いていた委員の方
 が、それはボランティア
 をお願いしたいらいい
 と提案し、お寺から文
 書で呼びかけました。

すると十五名の方が
 ボランティアに来てく
 ださいました。通常で
 すと、一時間以上かか
 る作業が約三十分で終
 わりました。ご参加い
 ただいた皆様、誠に有
 り難うございました。

また、お花を入れる
 ゴミ袋の数も以前より
 少なくなっておりませ
 んので、自分のお墓のお
 花はお盆後に自分で下
 げている方も多くなつ
 ているのかも知れませ
 ん。有り難いことです。





骨折の顛末(てんまつ)

九月の下旬のことでした。夕方勉強会から帰ってきて、いつものように草花に水やりをしていました。ところが水道のホースがリールに絡まってしまいました。さらにそのホースに足が引っかかって転倒してしまいました。右手でホースを持つていたので、それを放すことができず、そのまま転んでしまいました。

その時に、右手の肘が右の肋骨に当たり、地面に強く押しつけられました。かなり痛みがあり、翌日念のために外科医院で診察してもらいました。すると肘は打撲だけでしたが、右側の一番上の肋骨が一本骨折していました。

不幸中の幸い

骨折した場所がもつと下の方でしたら、コルセットで固定することもできたのですが、一番上の肋骨でしたので、それもできず、結局、湿布薬と痛み止めの飲み薬をもらって帰ってきました。

ネットで調べると、治療には三週間はかかると書いてありました。骨折から十日位経過して、痛みもやわらぎ、普通の生活をしています。その他の箇所には怪我はなく、頭も打たなかったのは不幸中の幸いでした。骨折はしましたが、そのお陰で肺や内臓に損傷はありませんでした。

「もう若くはないぞ」

今回の怪我で、私は老化ということを強く感じさせていただきました。学生の頃はラグビーをやっていましたし、運動が好きで今でもスポーツジムに通っています。ですから、まさか自分が転倒するとは思っていませんでした。

そんなうぬぼれは見事に打ち砕かれたのです。今年、六十五歳になり、高齢者の仲間入りをしたことを頭では理解していたのですが、身体はまだだだ若いと錯覚していたのです。しかし今回、年齢並みにしっかりと身体も老化していたのだと思い知らされました。「もう若くはないぞ」と、阿弥陀さまが教えてくれたのだと思います。

「歳をとったおかげで…」

これからは今まで出来ていたことが、だんだんと出来なくなってくるのだと思います。そして逆に人にしていただくことが、だんだんと増えてきます。そうすると、いかに自分がちっぽけな存在であるのかに気づかされます。

しかしそれは逆に、そんな自分がいかに多くの人の力をいただいて今日まで生かされたのかを身にしみて感じ、お陰様と思えるようになるチャンスなのかもしれません。

ですから、ただ老化を嘆くだけではなく、それをお念仏の世界に出遇うご縁にしてい

たらと思うのです。若さを失うことを通して見えてくるものが、きつとあるのです。私たちも「歳をとったおかげで…」といえる人生を送りたいものです。

(住職作成 令和六年十月のテレホン法話より)

**令和六年度
永代経志納**

有り難うございました。

仏法は尊い法なので永代に伝えてくださいという願いを込めて、お寺に申し込むものが永代経です。

一昨年から志納順に掲載しています。

令和七年三月三日現在

- 母を縁に 一金 壹拾伍万円 中佐善
- 兄を縁に 一金 壹拾万円 横浜市
- 兄を縁に 一金 伍万円 吉田

墓地調査票 中間報告

昨年秋に墓地調査票を配布させていただきました。まだ、回収できていない方もありますが、簡単に報告させていただきます。

これまでに提出いただきました方は419世帯で、そのうち法圓寺に墓地がある方は、約65%の274世帯です。

今後問題になる点は、「あなたの家のお墓を、今後守ってくれる予定の方がおられますか？」という問に対して、「守ってくれる人がいない」と回答された方が17世帯、「未定 わからない」と回答した方が66世帯もありました。

お墓を無縁化させない取り組みが今後必要であると強く感じています。

妻を縁に	美金	壹拾万円	父を縁に	富永	壹拾万円	父を縁に	富永	壹拾万円	父を縁に	富永	壹拾万円
母を縁に	美金	壹拾万円	父を縁に	萩野	壹拾万円	夫を縁に	吉田	壹拾万円	父を縁に	吉田	壹拾万円
祖父を縁に	美金	貳拾万円	父を縁に	新発田市	壹拾万円	父を縁に	新発田市	壹拾万円	父を縁に	新発田市	壹拾万円
父を縁に	吉田	貳拾万円	夫を縁に	吉田	壹拾万円	父を縁に	吉田	壹拾万円	父を縁に	吉田	壹拾万円
父を縁に	美金	貳拾万円	父を縁に	漆山	伍万円	父を縁に	漆山	伍万円	父を縁に	漆山	伍万円
母を縁に	美金	貳拾万円	父を縁に	村山	壹拾万円	父を縁に	村山	壹拾万円	父を縁に	村山	壹拾万円
母を縁に	美金	貳拾万円	母を縁に	矢作	壹拾万円	母を縁に	矢作	壹拾万円	母を縁に	矢作	壹拾万円
夫を縁に	美金	壹拾万円	父を縁に	矢作	壹拾万円	父を縁に	矢作	壹拾万円	父を縁に	矢作	壹拾万円
父を縁に	美金	壹拾万円	母を縁に	吉田	壹拾万円	母を縁に	吉田	壹拾万円	母を縁に	吉田	壹拾万円
母を縁に	東京	壹拾万円	姉を縁に	吉田	壹拾万円	姉を縁に	吉田	壹拾万円	姉を縁に	吉田	壹拾万円
本人	美金	貳拾万円	父を縁に	平野	壹拾万円	父を縁に	平野	壹拾万円	父を縁に	平野	壹拾万円

壹拾万円以上が特別永代経となり、札が黒塗りで金文字のものとなります。

毎朝本堂でのおあさじのお勤めの後で、永代経の経をあげさせていただいております。また、春彼岸会の折に志納者様をご案内して永代経法要を勤修しております。志納いただいた次の年のみ、文書でご案内させていただきます。ご案内のあった時には、お誘い合わせの上、法圓寺へお参りください。よろしくお願ひ申しあげます。

お寺のヨガ新講師



「お寺のヨガ」の新しい講師の先生が決まりました。県央地域を中心に活躍されている嶋田あい先生です。今年の初回は、四月十六日（水）の十九時半からです。五月からは毎月第三月曜の十九時半より法圓寺本堂で行います。十一月まで行う予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

本堂のエアコン交換

一昨年の夏の終わりに、本堂のエアコンが一台壊れてしまいました。本堂再建以来四十年も使ってきましたので寿命がきたのだと思います。



また、近年の夏の異常な暑さも影響しているとも思います。最近では真夏でも葬儀や法事の際は、礼服を着てこられる方が多くなり、本堂の冷房は欠かせないものとなりました。それで昨年の六月に新しいものに交換させていただきました。ただ、昨年の夏に本堂のもう一台のエアコンも壊れてしまい、頭を抱えています。

総代就任にあたって

法圓寺総代(升潟地区) 高橋藤廣



今回、法圓寺様の総代に就任させていだいた高橋藤廣です。

私が今まで宗教に触れる機会といえば、盆暮れの仏壇参りや法事くらいでした。そんな私が突然法圓寺様より、総代就任のお話を頂き、果たして大役をお受けしてよいものかどうか、大変悩みました。

しかし、二年程前に高齢だった両親が続けて逝去し、それを縁に、お引き受けさせてもらうことにしました。

それまでは、ほとんどの仏事は父がやっており、私は全く無知な状況でした。しかし、葬儀の時に伺った法話の中で、「ご縁」、「お陰様」、「感謝」、「生かされている」という言葉が、なぜか心に残りました。

「生かされている」という言葉が、なぜか心に残りました。

今思うと、二度の葬儀を無事に終える事が出来たのは、両親が長年にわたりお付き合

いをさせていただいた、親戚や近所の方々の協力が有ればこそであった、と感じました。そして、そのことが聞かせていただいた法話の内容と見事に重なる事に気づきました。

また、私は仕事で数年前まで中国の上海で十年間生活していました。社員五十人程の会社で、日本人は私一人でしたが、仕事の時は通訳がおりましたが、会社から一歩出れば回りはほとんど中国人で、一人では何もできない状況でした。

初めは不安ばかりでしたが、半年、一年と過ごすうちに、私よりも、何も分からない私に付き合ってくれている周囲の方々のほうが、むしろ大変だったのではないか、ということに気づかせていただきました。大きなお陰様の中で生かされていたのです。

習慣や環境は大きく違いましたが、中国で十年間無事に勤めることができたのは、人

のご縁に恵まれ、たくさんのお陰様をいただいているからです。

このような機会がないと普段の生活の中では、人との関わりや有難さに気がつかないと思います。これからの人生でも、お陰様と感謝を忘れずに生きてゆきたいと思ひ、この度、総代の大役を受けさせていただきます。

今後は法圓寺様や皆様からのご指導の下、少しでもお役に立てればと思ひますので、よろしくお願い申し上げます。

慶哉、小学校入学

住職の内孫・慶哉が、今春弥彦小学校に入学します。弟の日知(はると)は二松保育園の年中組になります。



今年の主な行事

- 3月20日(祝) 春彼岸中日法要
3月28日(金) 法圓寺仏教婦人会総会
5月10日(土) 村仏教会花まつり (本高寺様)
5月24日(土) 前住職17回忌等法要
6月15日(日) 合同年回法要 (法事)
6月22日(日) 法圓寺世話方会議 (予定)
7月7日(月) へびお講
7月18日(金) 称名講
8月1日(金)、3日(日) 盆参会
8月13日(水) 墓参
9月23日(祝) 秋彼岸会
10月7日(火) 本山差向布教(仏教婦人会例会)
11月17日(月)、18日(火) 法圓寺報恩講
12月31日(水) 除夜の鐘 (14時より)

おとがみ

昨年は、長女の出産、二男の結婚と、おめでたいことが続きました。

しかし、私個人は五月に心房細動のカテーテル手術を受け、九月には肋骨を骨折。十一月には大腸の良性ポリープを切除と散々な一年でした。おかげさまで、それらは完治して現在が通常の生活を送っています。今年は入院や怪我なしにしたいものです。(住職記)

令和七年度年忌表

Table with 2 columns: 年忌 (Anniversary) and 年 (Year). Includes entries for 一周忌 through 百回忌.

ご法事のお申し込みはお早めに!